

各種仮設機材の販売からリースまで。

中央ビルト工業は
仮設機材の総合メーカーです。

中期経営計画

(2021年4月～2024年3月31日)

 **中央ビルト工業株式会社**

2021年5月17日

証券コード: 1971

<http://www.chuo-build.co.jp>

■ 経営理念

当社は、主軸となる事業として、これまでの仮設機材事業に加え、住宅鉄骨事業が両輪の一つとして着実に実績を積んできております。この二つの主軸を益々強固なものとしていくことに邁進して参ります。

当社は、社員＝人財と考え、全社員の物心両面の幸福を追求し、社員の愛社精神により企業が成長していく、企業は社員への確かな処遇向上を果たしていく、このような企業風土を築いて参ります。

代表取締役社長
齋藤 健

■ 当社の事業セグメント

● 仮設機材事業（販売・賃貸）

弊社が仮設機材の製造販売の分野に進出したのは、昭和26年のことでした。以来、仮設機材の総合メーカーとして着実に地歩を固め、弊社の枠組足場、パイプサポート、吊足場、鋼製足場板などの仮設機材は、大手ゼネコンをはじめとする建設業界で絶大な信頼を得てまいりました。現在、各種仮設機材の販売からリースにいたるまで、ユーザーの幅広い要望にお応えできる体制を整えております。建設工事があるかぎり、仮設材は必要不可欠です。時代の要請に応じた安全で利便性の高い製品を提供し続けること、それが当社に課された使命と考えます。

また、弊社では、各種建設プロジェクトの企画、設計から、プロジェクトに適した機材、施工法の選定、販売、リース、および施工にいたるまで、当社の技術サービスを提供しています。

これまでの省力化工法の実績をもとに、常に新技術工法の製品・サービスの提供を命題として鋭意努力しております。

● 住宅鉄骨事業

弊社は、長年にわたり旭化成ホームズ（ヘーベルハウス）の住宅用鉄骨部材の製造受託を行っておりましたが、2017年2月の資本業務提携により、旭化成ホームズが筆頭株主となりました。その後、千葉工場内に新工場を完成させ、最新の生産設備を導入し、高品質な製品を安定的に供給しております。

● 仮設機材事業

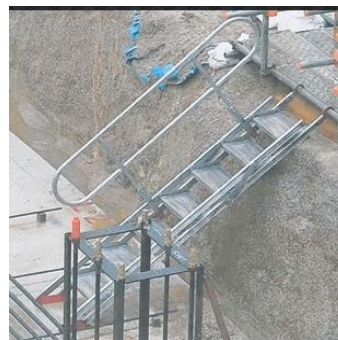
・幅木



・アルミステップガード



・クイックステップ



・マルチトラス



・スカイフェンス

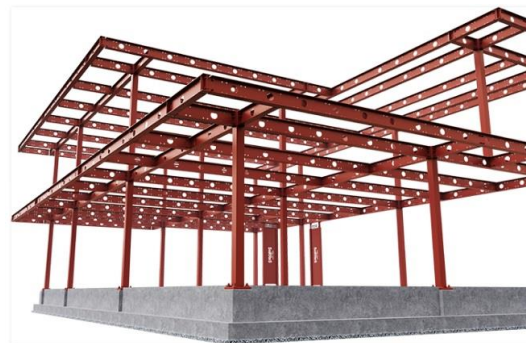


・軽量四角支柱

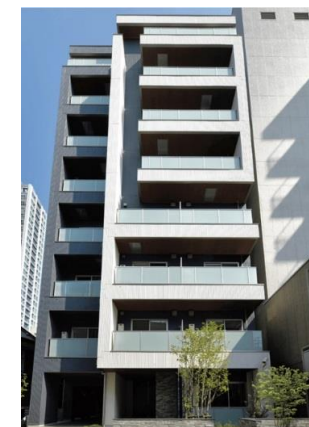


● 住宅鉄骨事業

・FREX(重量鉄骨)



・HBS(ヘーベルビルズシステム)

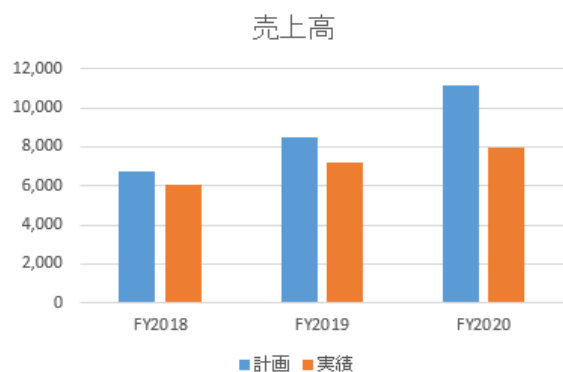


■前中期経営計画の振り返り(期間:2018年4月1日～2021年3月31日)

2018年5月18日に公表しました中期3ヶ年経営計画は、2017年度に発覚しました弊社名古屋工場における不適切な会計処理に係わる調査費用等の一過性費用が発生したことに加え、仮設機材事業部門の業績見通しに大きな見誤りがあり、2017年度を初年度として開示をしました中期経営計画を撤回し、2018年度を初年度とした中期3ヶ年計画を策定いたしました。

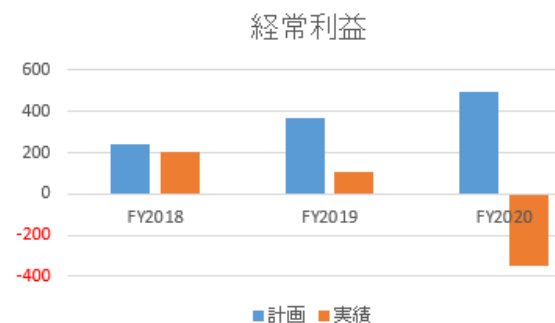
売上高の計画値は、2018年度が6,736百万円に対し、最終年度の2020年度は11,183百万円と+66%増収としておりましたが、実績は、2018年度が6,055百万円(達成率90%)、2020年度が7,947百万円(達成率71%)と大幅未達となりました。

経常利益の計画値は、2018年度が242百万円に対し、最終年度の2020年度は498百万円へ倍増する計画でしたが、実績は、2018年度が204百万円(達成率84%)、2020年度は▲349百万円と大幅未達、赤字の結果となっております。



(単位:百万円)

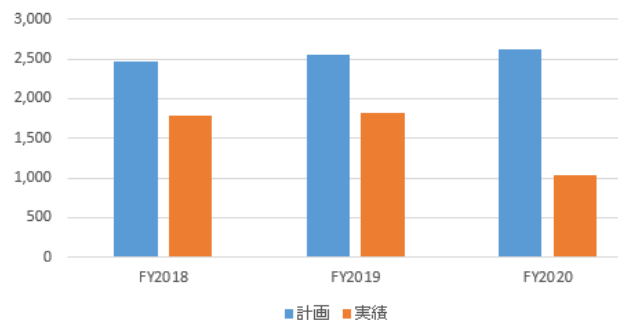
	FY2018	FY2019	FY2020
計画	6,736	8,520	11,183
実績	6,055	7,231	7,947
達成率	90%	85%	71%



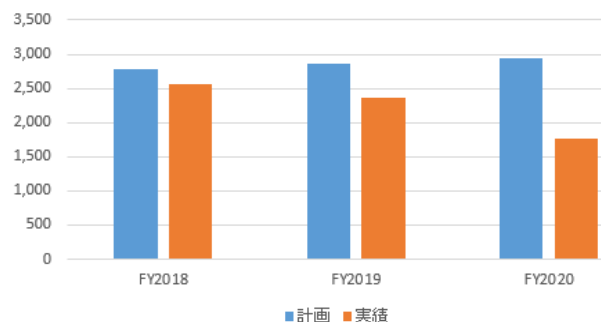
(単位:百万円)

	FY2018	FY2019	FY2020
計画	242	369	498
実績	204	105	▲349
達成率	84%	28%	-70%

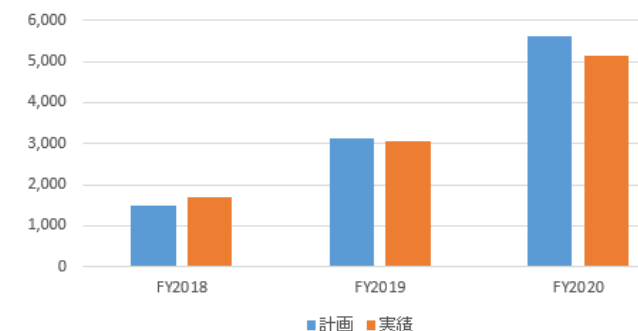
仮設機材販売売上高



仮設機材賃貸売上高



住宅鉄骨売上高



(単位:百万円)

	FY2018	FY2019	FY2020
計画	2,475	2,549	2,626
実績	1,788	1,817	1,041
達成率	72%	71%	40%

(単位:百万円)

	FY2018	FY2019	FY2020
計画	2,776	2,859	2,945
実績	2,562	2,353	1,767
達成率	92%	82%	60%

(単位:百万円)

	FY2018	FY2019	FY2020
計画	1,485	3,112	5,612
実績	1,705	3,062	5,140
達成率	115%	98%	92%

旧中期3ヶ年計画は、不甲斐無い結果となってしまいました。その原因は、仮設機材事業の不振によるところが大きく、新たに策定した新中期3ヶ年経営計画では、当社が目標とする仮設機材事業と住宅鉄骨事業の両輪を確固たるものするべく、抜本的な対策としての『仮設機材事業再建アクションプラン』を確実に実行することにより、計画達成に向けて邁進をして参ります。

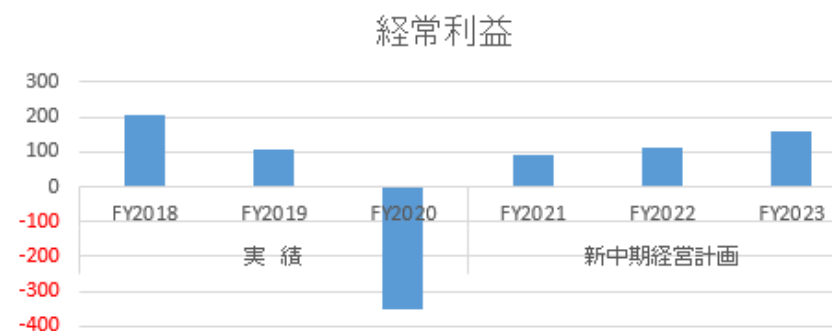
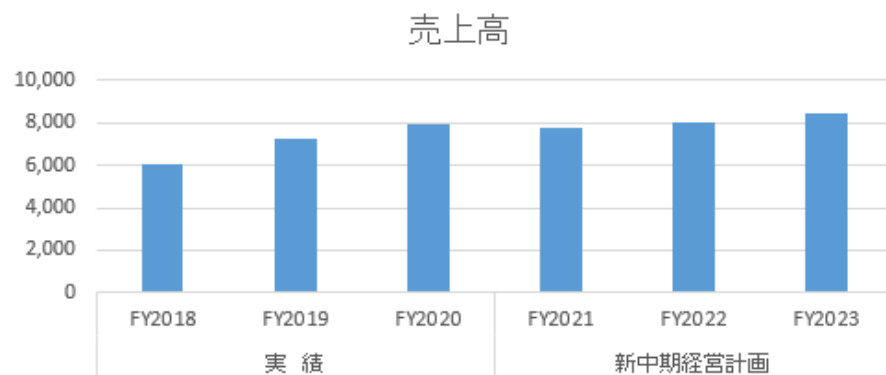
■新中期経営計画(期間:2021年4月1日~2024年3月31日)

●目標:仮設機材事業と住宅鉄骨事業の共存

●経営目標値

売上高の計画値は、2021年度が7,782百万円、2022年度が8,004百万円、2023年度が8,417百万円と2020年度実績に対し+6%程度の増収を目標としております。

経常利益の計画値は、2021年度が90百万円、2022年度が112百万円、2023年度が159百万円と黒字化を目標としております。



(単位:百万円)

	実績			新中期経営計画		
	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023
売上高	6,055	7,231	7,947	7,782	8,004	8,417

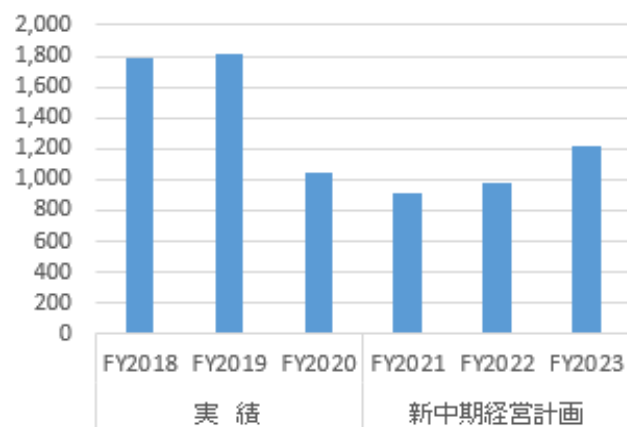
(単位:百万円)

	実績			新中期経営計画		
	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023
経常利益	204	105	▲ 349	90	112	159

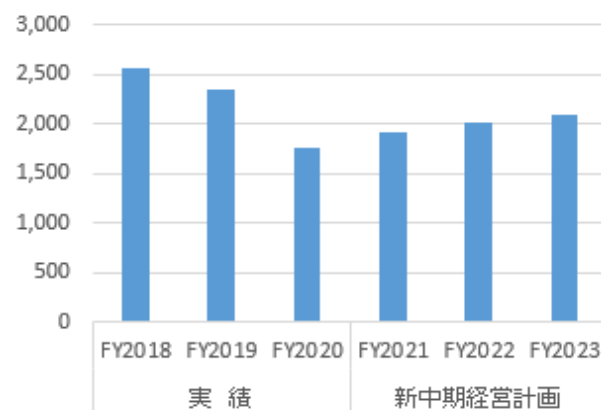
●セグメント別売上高 (単位:百万円)

	実績			新中期経営計画		
	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023
仮設機材販売	1,788	1,817	1,041	916	984	1,217
仮設機材賃貸	2,562	2,353	1,767	1,920	2,020	2,100
住宅鉄骨	1,705	3,062	5,140	4,946	5,000	5,100
合計	6,055	7,231	7,947	7,782	8,004	8,417

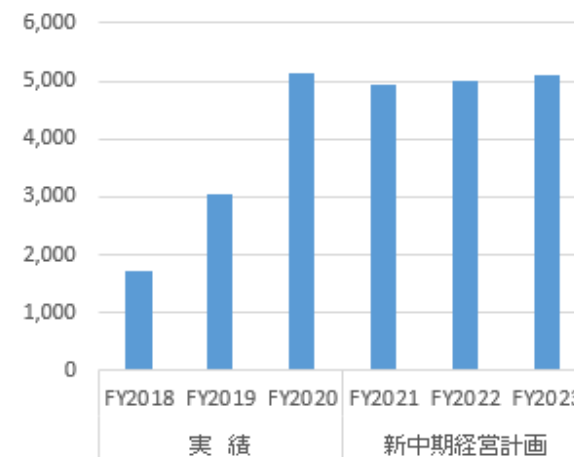
仮設販売売上高



仮設賃貸売上高



住宅鉄骨売上高



● 仮設機材事業再建アクションプラン(AP)について

仮設機材事業再建アクションプランの主要項目は以下の通りです。

<販売>

- ・『売れる商品』の開発をスピードアップすべく、技術商品開発本部の人員増強とプロジェクトチームの発足。
- ・旭化成ホームズのノウハウを注入し、仮設機材工場の品質改善。
- ・商売チャンスを逃さないための、戦略的な適正在庫の保有。

<賃貸>

- ・総合リース業の確立
総合リース業として他社品も含め品揃えを増やし、ニーズに応える。
- ・当社独自の商品の開発・投資
当社の強みであったシステム商品(一般足場以外の特殊品)をリニューアル開発し、あらたに独占シェアを作る。

<販売・賃貸共通>

- ・金融機関、旭化成グループのルートを最大限活用
取引金融機関、旭化成グループのルートを最大限活用し、あらたな客先の拡大により顧客増をはかります。
営業担当者だけに任せず、会社を挙げてバックアップすべく、社長他役員によるトップセールスを実施して参ります。
- ・代理店の有効活用
営業マン不足を補う為、当社と連携してくれる仲間を新たに増やしていきます。養生(ネット、シート)業者や仮囲い・鉄骨関連の業者との相互連携を強化します。

<工場の統合>

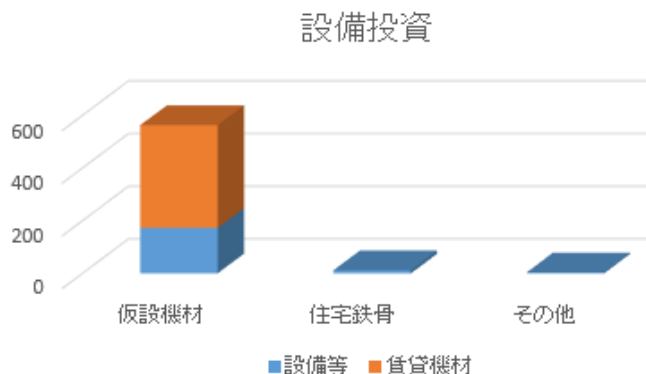
- ・千葉工場の仮設機材の生産設備を名古屋工場に移設
工場間接経費の削減、効率化を目的とし、仮設機材の生産拠点を名古屋へ集約します。付随して、千葉工場を住宅鉄骨事業に特化し、より製造体制を確立することで、製造量アップを目指します。

<経費削減>

- ・役員の定数削減、報酬のカット、経費削減
利益を出せる会社にするべく体質改善を断行します。

●設備投資計画について

2021年度の設備投資計画は、設備等は総額189百万円としており、その内、仮設機材の工場が142百万円と大半を占めております。千葉工場から生産設備を移設するのに伴い、埋め立て地の軟弱な地盤を改良する為の杭、床改修等の工事費用、設備移設費用等、総額98百万円を計上しております。更に工場の生産管理システムの構築費用40百万円を計上しており、通常の年と比べ、一過性の支出が多くなっております。



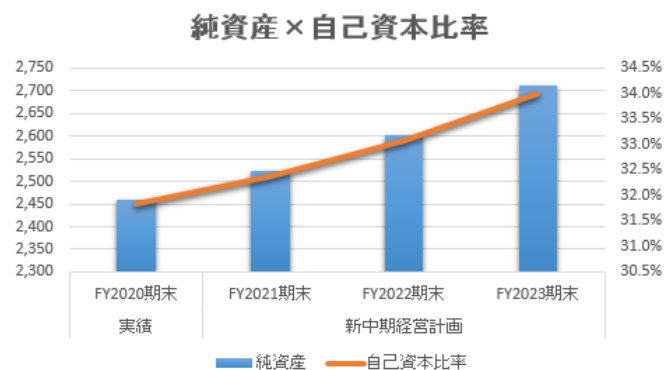
(単位:百万円)

	設備等	賃貸機材	合計
仮設機材	173	390	563
住宅鉄骨	12	0	12
その他	4	0	4
合計	189	390	580

●自己資本比率について

2020年度は、巨額の減損損失を計上した為に、期末における自己資本比率が31.8%(純資産2,459百万円)へ下落をしました。

新中期経営計画における経常利益に対し、税率を30%として税後最終損益を計算しますと、2021年度末は32.4%、2022年度末は33.1%、2023年度末は34.0%へ、徐々にではありますが、回復する見込みであります。



(単位:百万円)

	実績	新中期経営計画		
	FY2020期末	FY2021期末	FY2022期末	FY2023期末
純資産	2,459	2,522	2,601	2,712
総資産	7,723	7,787	7,865	7,976
自己資本比率	31.8%	32.4%	33.1%	34.0%

●株主還元について

当社は、これまで安定的な配当を基本方針とし、私的整理再建計画終結後、配当を維持継続して参りましたが、2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による売上不振による資金繰りの悪化、今後の業績回復に向けた財務基盤の安定化を優先する観点から、無配とさせていただきます。

新中期経営計画を確実に達成し、必ずや復配できるよう鋭意努力して参りますので、株主の皆様におかれましては、どうか御理解の程、よろしくお願い申し上げます。

●業績見通しに関する注意点

本資料の内容は、発表日時点において当社が入手した情報を元に作成したものです。従いまして、実際の業績については、経済情勢、その他不確定な要因により、本資料と異なる可能性がありますことを御了承願います。

<問い合わせ先>

中央ビルト工業株式会社 経営統括本部
東京都中央区日本橋富沢町11番12号サンライズビル6階
電話:03-3661-9631 FAX:03-3661-1867